



“新たな価値を創造するモノ作り”への挑戦

スズキ株式会社
代表取締役社長

津田 紘

企業には一貫したビジョンが必要です。

“消費者の立場になって、価値ある製品を作ろう”、この言葉はスズキの社是であり、スズキの創業以来すべての“モノづくり”に対する基本理念であり、精神の拠り所でもあります。

“モノづくり”とは創造することであり、人々の暮らしに役立ち、心を満たす“価値”を創り出すことであり、地球環境や安全対策への挑戦です。

時の流れやライフスタイルの変化だけではなく、世界の国々が求める“価値”は、大きなうねりにも似たものがあります。これは“変化”という言葉では表すことができない大きな流れであると思います。

作り手がお客様の声に耳を傾け、社会が求めているものをしっかりと受け止め、真心をこめて商品を作るという行為は普遍であり、メーカーとしての使命であると考えます。

スズキはこれまでも常に変化するお客様の“価値”に対し、個性的な製品を提案することで、“新しい価値と新しい市場”を作って参りました。斬新なアイデアと、それを実現するためのさまざまな技術への挑戦は、全てがスズキのゆるぎなき信念であり、お客様や社会への回答でもあります。そして、この精神は永遠に変わることはありません。

一方、世界的なモータリゼーションの発展に伴い、これまで以上にクルマに対する“価値”の基準が大きく変わり始めていると感じています。

自動車の誕生から一世紀以上が過ぎ、“走る”という実用性の高いクルマから、お客様がクルマを“持ちたい”という満足感や親近感のわくクルマが求められてきたように思います。二輪車、四輪車といった身近なクルマは、その価値の更なる変化や進化が求められているのではないのでしょうか。

クルマに対する価値が変化する一方で、環境問題や省エネルギーに対する意識の高まりに合わせ、「小さなクルマ」が世界中で見直されています。特にこの数年、「小さなクルマ」、いわゆるコンパクトカーへの注目度、期待は高くなり、クルマはより高い“社会性”という価値を求められています。

スズキはこれまでも“小さなクルマ、大きな未来”をテーマに小さなクルマ作りに取り組み、お客様の様々なライフスタイルにマッチした商品を提供して参りました。安全、環境性能の向上を果たしつつ、お客様の求める次なる「小さなクルマ」を開発することが、スズキの最大の課題でもあり、使命であると考えます。

スズキのクルマ作りの挑戦を振り返ってみると、1955年に発売した軽自動車のパイオニア「スズライト」にその



初代スズライトSS

原点があります。

その小さなクルマは、日本独自の軽自動車という規格が定められて最初に発売された軽四輪車で、日本で初めて2サイクルエンジンの搭載に成功しただけでなく、前輪駆動車（FF）の採用により大人四人が乗れるという画期的な商品でした。さらに、1970年に発売した「ジムニー」は、軽自動車の小さなボディに本格的な四輪駆動システム（4WD）を詰め込み、高い走破性により世界各地でご愛用いただいています。また、記憶に新しいところでは「アルト」、「ワゴンR」など、発売以降に新しい市場を形成した商品を挙げる事が出来ます。

スズキは「小さなクルマ」作りのパイオニアとして、利便性だけではなく社会が求めるコンパクトカーをお客様に提供するために、更なる“モノ作り”の進化が必要であると考えます。

スズキには、50年を超えるクルマ作りの中で、限られたスペースに無駄を省いて有効活用するパッケージングの技術、個性を際立たせるデザイン、コンセプトなど、他社には無い時代を先取りした思想、独自の技術、ノウハウがあります。また、感性に訴える部分では、二輪をはじめとしたモータースポーツを通して体にしみ込んだスポーツマインドを持っています。

これらの技術、マインドを具現化したものがコンパクトスポーツの「スイフト」、本格的四輪駆動車の「エスクード」であり、これらに続く世界戦略車として2006年の7月に発表した「SX4」がスズキの商品思想そのものを表現しています。



SX4 1.5XG



初代ワゴンR FX

「SX4」は、コンパクトカーとSUVのノウハウを融合させた“クロスオーバー車”で、新しいジャンルをお客様に提案するために開発したクルマです。そしてこの「SX4」を軸に、次なる“小さなクルマ”の“大きな未来”に向けて新たな挑戦を続けていく決意です。それは商品だけではなく、世界最高峰のモータースポーツレースへの挑戦です。

今年2月のジュネーブモーターショーにおいて、この「SX4」をベースにした車両で“WRC（世界ラリー選手権）”への参戦を表明しました。二輪のモトGP、四輪のWRCと、2つの世界最高峰のレースで戦うことは、二輪・四輪を製造するメーカーとして栄誉であり、そこから生まれる技術のポテンシャルを高めることへの挑戦です。これから開発する商品や技術開発をリードする役として、身の引き締まる想いです。

世界を舞台に戦うことで、今後、世界のあらゆる場所でお客様の求める“価値”に応えられるような製品開発に一段と取り組んでいきたいと考えています。

そのためには、常に社員ひとりひとりが意欲を持ち高い理想を掲げ、情熱を持って挑戦を続けていく強い意志が重要です。スズキは日頃から“人”を育て、大切に作る風土を作るように、トップが先頭を走ることを心がけています。

スズキのモノづくりを通して磨き上げてきた技術と、その根底にあるスズキのクルマに対する心も理解していただけるような、スズキらしい製品作りに取り組むことで、スズキブランドの向上に結び付けていきたいと考えています。



SX4 WRCプロトタイプ